

24年10月28日
品質管理課 赤井

「品質月間 2024」



2024年11月1日~30日は第65回品質月間です。

今年のテーマは「原点回帰！品質と信頼で築く豊かな社会」となっています。

-----以下テーマ背景-----

昨年から今年にかけて、株高、マイナス金利政策からの転換、賃上げ、インフレ傾向など、社会的な経済の動きは、新しい局面を迎えつつあります。これが、経済の発展とともに豊かな社会を生み出すことになるのか、産業界にとって重要な転換期にあるといえます。このような転換期にこそ、確かな品質を創造していくことが、組織には強く求められています。それによって顧客の信頼を勝ち取ることができれば、失われた30年からの脱却も可能になると思われます。

しかし、残念ながら品質不祥事の問題は継続して発生しており、信頼回復への道筋はまだ見えていません。また、品質不祥事だけでなく、働き方改革、職場での心理的安全性の確保、COVID-19後の生活様式の変化への対応等、新たな課題にも対応しつつ、新時代に適合した品質創造のあり方を追求しなければなりません。失われた30年からの脱却というチャンスを逃さないように、確かな品質を創造するにはどうすればよいか、しっかり考える必要があります。

そこで、今年の品質月間では、「原点回帰！ 品質と信頼で築く 豊かな社会」というテーマを設定しました。「原点回帰！」は、昨年もテーマの中に盛り込みました。これは、顧客を満足させる品質を創造するには何をすべきかを、あらためて見つめようというメッセージです。「品質と信頼で築く」というのは、ごくごく当たり前にやるべきことで、目新しさはないと思いますが、この転換期に行うべきことを端的に表していることばです。顧客の信頼を得ることなしに、豊かな社会は作れないと思います。このような転換期こそ、着実に守るべき普遍的な考え方を大切にし、確かな品質創造を実践していきましょう。今年の品質月間では、豊かな社会への次の一步を踏み出したいと思います。

第 65 回 品質月間委員会委員長
早稲田大学 理工学術院 教授 棟近 雅彦

社長方針では、

- ①納入品質満足
- ②工程内不良削減
- ③初期育成での品質完全玉成

についてそれぞれ目標が決まっています。

皆様の日々の活動により、多数個不具合や明らかな不具合流出の流出は減少しており、顧客からの満足度も上がってきています。

今後は流出だけでなく、発生する不具合の低減もより一層推進していきましょう。